

「TOGAF® ビジネス・アーキテクチャ Level1 & ArchiMate® 3 トレーニング・コース (2021/10)」開催のお知らせ

拝啓 貴社益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃は格別のご高配を賜りまして、厚く御礼申し上げます。

さて、「TOGAF® ビジネス・アーキテクチャ (BA) Level1 & ArchiMate® 3 トレーニング・コース」をご案内申し上げます。

ビジネスとデジタル化の一層の融合と、この結果得られる新たなビジネス創出のために、デジタル変革は各企業・組織にとって今や避けられない動きとなっています。このような環境に対応し自社のビジネス変革を推進していくためには、「未来志向のアーキテクチャ」が不可欠です。この第一歩を踏み出すためには、自社のビジネスの将来像を描きこれを具体的に示すことが求められます。これは TOGAF® ADM(アーキテクチャ開発手法)のフェーズ A ならびにフェーズ B で詳細に検討されるべき事項です。TOGAF® BA は、TOGAF® トレーニング・コースで触れられた各種方法論、技法の両フェーズにおける活用方法を学び、ビジネス・アーキテクチャの構築の実務に活かすことができるようになります。

さらに、ビジネス・アーキテクチャを構築し、ICT 側と経営側、チームメンバーとのコミュニケーションをとるためには、標準化され誰もが分かるアーキテクチャ記述言語が不可欠です。このアーキテクチャの見える化を実現するのが、ArchiMate®(アーキメイト)です。ArchiMate®を使用することで、TOGAF®によって生成されるアーキテクチャをビジネスの現場、システム開発からオペレーション部隊に至るまで、分かり易く“見える化”し、併せて曖昧さが排除できることから、ステークホルダをはじめ関係者の理解が格段に得やすくなります。

本コースのご受講によって、ユーザ企業のアーキテクトは、説得力を持って自社のビジネスのあるべき姿を経営陣に提示することができるようになります。外部から参画するコンサルタントは、顧客のビジネスを更に深く分析し新たな視点から提言することが可能になるものと確信いたします。

TOGAF® 認証者と同等の知識・経験をお持ちのアーキテクトの方、ジュニア・EA アーキテクト又は EA ライブラリアンの方々を対象に、TOGAF® BA と ArchiMate®の組み合わせによりアーキテクチャの効率的構築を進めて頂きたいと考えご案内申し上げます。奮ってご参加のほどお待ち申し上げます次第です。また、本コース受講後、所定の認証試験に合格することによって、「TOGAF® ビジネス・アーキテクチャ Level1」及び「ArchiMate® 3.1」の資格証明が付与されます。

何卒、貴社の CIO, アーキテクト、ICT マネージャの方々をデジタル変革の旗手として育成していただきたく、本コースにアサインしていただきますよう、よろしく願いいたします。

敬具

グローバル情報社会研究所株式会社 代表取締役社長
オープン・グループ 日本代表・会長
藤枝 純教